京城新報

●新聞代 [illegible]
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢 ▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 五月二十日
發行兼編輯人 印刷人 秋山忠三郎
京城西署西小門通 發行所 京城新報社 電話六六三番

追想す花房公使(二)

翠山生

▲壬午の變の事柄に就ては今更らながら愛に記述する必要はないもの〻筆の行き掛り上大体丈は記さねばならぬ、サテ其の頃大院君に於かれては餘り日本を好かぬ方でレに閔妃の外戚とは非常に反目軋轢して居つた、尤も當時閔妃の外戚は自家一味の勢力を傀沿扶植せんとの念熾んであつたから勢ひ大院君とは其の間圓滿に行かう筈がない、大院君の御不平も强ち無理はないのである、しかして其の閔派對大院君派の雜沓の間にも常に小紛擾が絶ねず、時に血を流し肉を飛ばすやうな慘澹たる悲劇が演ぜられた。

▲憚り多きことながら愛に大院君の御性質を述べて見ると君には大成非常に勝氣な方で常に深刻の氣が其の眉宇の間に閃いて居る、從つて人に對して剛岸不屈、肅然として寸分稀容の態を現はさない、餘暇あれば史書に耽けり、口を開けば周孔を說く、宛として一個驕慢頑迷なる儒學者の風格がある、閔家の一派を憎むこと恰かも蛇蝎の如くなる固より一層左あるべきことどである、時に皇帝にはれ衆の諍にも此の兩派の中間に立つて一方ならず震襟を惱まされ、何等かの方法を廻らして圓滿に其の間を取り爲さんとの御心は日として其の胸中に絶ふる間とてもなく又二ッには父の愛を失ふことの痛く御心を惱まされしが四邊の情勢如何とも爲し難く唯に悶々の情を抱いて空しく月日を送るのみであつた、併し國政を左右するに就ては固より皇帝の御方寸にあるから皇帝には此の點に就ては誰憚からず斷行し畏くも外には改進政略を取り玉ひて諸外國との條約を締結し內は國政の前正に御心を注がされた、

▲斯かる中にも兩派の暗流は日に益々急である加ふるに國家の紛糾も年と共に亦甚だしい閔妃の外戚に嫌忌たるものは恐く颯を望んで大院君の麾下に集つた而して時は明治十五年七月であつたが當時京城の鎭兵五千餘人久しく政府より糧食を供與せられざるに依り情を具して屢々當路者に哀願するところあつたが係りの官吏は何時も其の要領を行はず荏苒遷引日を經るも要領を得ざるに不都合にも言を左右に托して更に之が實所から彼等は非常に憤慨し或る日銃を脫して大院君の許に至り、具さに其の亡狀を哀訴した、大院君にも五千の兵士が今にも餓死せんとする憐れなる境遇を面のあたり目擊しては之を救はざるを得ない、兎も角も庫を開いて一時の糧食を當てがつた、

▲スルト時は七月二十三日漢城の天地は殺氣地に滿ち腥風天に吹く慘憺悽愴なる光景と化して了つた、而も七月二十三日……此の日言ふ迄もなく彼等五千の鎭兵等が大擧勢を張りて不逞の徒と化し、意を決して淸水館を襲ひ、閔妃の邸を燒き、且つ閔家跋扈の張本人たる閔謙鎬、閔台植、金壽鉉、李最應等の面々を殺戮し尙勢に乘じて我が公使館を襲ひ同じく火を放つて之を燒き同時に當時朝鮮軍隊訓練の任に當り居りし陸軍工兵中尉堀本禮造氏外七名を殺害した容易ならぬ出來事であつた、時に閔妃には服を變じて尹泰駿の家に赴きソレより忠淸道に落ち延びられたが一味徒黨のものにして此の不意の殃に罹つたものは實に三百人と稱せられた。

●五月中の京城商況(一)

京城日本人商業會議所

本月に於ける當京城の商況を調査するに之を前月に比ぶれば幾分活氣を呈したるやの感あるも一般掛賣代金の集收困難を感じ各自警戒の結果卸小賣を論ぜず總て現金取引を主とし掛賣を好まざるの傾向を示し且つ各品とも同業者增加の爲め各商店の賣上高は日韓人向を問はず多少の減少は免る能はず而して比較的賣行良好なるは木材金物を始め建築に要する諸材料、味噌、醬油、酒類食料品等なり亦目下夏季に際し日本人向夏物吳服類の賣行多きを見るも韓人向地方取引を主とする綿布綿糸雜貨類に至りては昨年の同期に比し殆ど六七分の賣行あるに過ぎず然れども全体より觀察する時は稍々好況の兆候を示せりと云ふべし今市內各商店に就き調査したる所左の如し

△玄白米 は追々農繁期に向ひたると一面暴徒の關係よりして出廻り少く爲めに玄米は前月に比し二三十錢方騰貴を示せり白米は邦人の入京頻繁なるに從ひ需要多きも一般商況の引立たざる爲め幾分集金困難の狀態にして各店共現金取引を主とし且つ同業者間に於ける競爭の甚しき結果卸賣に在りては玄米に反し二十三錢方下落せり

△紡績系 例年本月は韓人側に於ける農繁期に迫り賣行減少するを常とす然るに本年は內地相場下落の爲め逐次下落し金巾木綿類の沈靜に反し相當の賣行を見たり

△和金巾 追々夏季に向ひ且つ農繁期に迫り賣行面白からず頗る沈靜の狀態なり從て相場も弱合の姿にて格別の變動なし

△晒金巾 夏季に向ふと共に多少の賣行あるも概して沈靜なり相場に於ては大なる變動なきも原料の下落に伴ひ弱含みの有樣なり

△麥粉 目下每年需要多き期節なるにより本月に於ても相應の賣行を見たり亦た本國相場の下落に伴ひ客月來下落の一方なりしも目今保合の有樣なり

△砂糖 は麥粉と共に需要多き期節にして賣行最も好況なり相場は內地各會社輸出競りの爲め品切勝にて逐次昇騰し前月に比し二十錢內外の騰貴を示せり

△鑵詰類 は需要多き季節に向ひ各品共賣行最も良好なり殊にパインナップルの如きは時節柄益々需要多きを加ふる筈にて在りては生物出廻りある爲め多少の影響は免がれざるが如し又軍隊の增派に伴ひ各品共需要增加を見るに至れり相場は前月に比し格別の變動なし

△大小麥 は農繁期に迫りたると地方品薄の爲め出廻り捗々しからず然れども母國相場下落の爲め取引なく自然當地の如きも弱含し保合にして至極閑散の狀態なり

△大小豆 は鐵道沿道よりの出廻り弗々あり客月以來稍々活氣を呈したるの感なりしも內地に於ける荷閥へ日一日と甚敷爲めに取引少なく頗る閑散の狀態なり相場は前日に比し大豆に於て十錢小豆に在ては吉圓內外の下落を示せり

●學生聯合親睦會總會 京城學生聯合親睦會總會は去十四日午後一時に中署壽進洞興士團測量學校內に於て開會せられたり出席會員は八十名內外にして左の條項を定め六時無事散會せり

一、崔會長は會員に向ひ新入會員を勸誘する件に付協議したる處全會同意を表せり

一、北署梓洞學校に設置せる學生聯合會と合同する可否に付會議の上大体に於ては合同することに可決せしも尙熟議を遂げたる上次期に於て確定すること

一、次會には知名の士に演說を乞ふことと右の外未決の條項ありたりと當日は書記出席せざる爲め凡て次會に讓りたり

新刊紹介

●韓國鐵道線路案內 京釜線及び京義線に於ける各驛の風土沿革を述べ且つ附近の名所舊跡を紹介す文章平易叙述簡明加ふるに所々に風景畫及び地圖を挿み讀む者をして不覺實感を動かさしむ(統監府鐵道管理局編纂)

●釜山港統計一班 僅に百五十頁足らずの小冊子なれども能く四十年中に於ける同港の經濟的事情を統計的に網羅せり評者は只々之が編輯者の手際に感服するのみ(釜山商業會議所書記局發行)

●ハガキ文學 各名家及び無名作家の筆になるもの標題の通り何れも短文にして讀み切り宜し唯だ今少しく身を入れざれば以て文壇の反響を買ふに至らざるべし

●成蹊 愈々出でゝいよいよ振へり言論には「藤者須知」の一文例に依つて鋭氣滿々ソレに雜纂欄には時代の皆見なる奇拔なる文字掲げあるが流石は木村鷹太郎氏文の腕前あり(一部五錢東京牛込市ケ谷成蹊社發行)

●憲政本黨々報 本號には合田福太郎氏の「總撰擧後に於ける活動」を揭げあり其他時事欄には最近に於ける政界の大勢を漏さず載せあるが殊に今回撰擧されたる議員の姓名及び所屬黨派等は讀者の切り拔きて保存するに便利なり(一部十錢東京芝區烏森町憲政本黨本部發行)

●木材賣拂案內 靑森縣下に於て產出する木材の性質良好なるは世人の夙に知るところなり本書は即ち之が木材の拂下げに就ての方法及手續を叮嚀に叙述したるものなり(靑森大林區署編纂)

小說 新不如歸(三十九)

篠原嶺葉著

「私の心得違ひからとんだ御心配かけて相濟みませんが、どうぞ不孝な倅を持つたが因果とお諦めなすつて、一二年の間御辛抱をお願ひ申します。」

「シテお前彼地へ行つて一体何を爲やうと云ふのだね。」

「何と申して、突然の事ですからまだ確うと云ふ考案もないですが、しかし多少の目的は有つて居りますから、萬に一つも目的が遂げられましたら、貴方にも今日の御心配を償ふだけの事は必然致す考へでございます。」

と、先刻より母子の談話を涙ながらに聞いて居た淸子に對ひ、

「ね、淸さん、今聞く通りの始末になつたから、嘸私が居なきや不自由だらうけれど一ヶ年と思ふのだが、殊に依つたら二年になるかも知れんが、どうぞ阿母さんと二人で留守を爲て居て下さい、其代り必然この不名譽が消ねるだけの働きを爲て、今日の苦みを笑つて話すやうにするから。」

「お留守中の事は、及ばずながら阿母樣に御相談申して致しますから、必ず御心配なさいますな……それよりか、私は貴方の御身の上が心配でございます、馴れぬ國へお出でなさるんでございますから、どうぞお身体を大切にして、一日も早くお歸りなすつて下さい、それを何よりの樂にして待ち申して居ります」

と、涙ながらに云つて

「目的が思ふ通りに行けば、二年所かやない半年でも歸つて來る、しかし目的の遂げるまでは音信に爲ないからさうか其の積で居て下さい……然う相談の極つた上は明日出發する事に致します、內地に安閑として居てひよつと不意の災難にでも罹ることそれこそ千秋の遺憾ですから」

すると、槇子は袖に涙を拭ひつゝ、

「どうぞ後の事は心配せずに、一日も早く出發して下さい……ではこれから百合子の所へ他者を遣つて些と來て貰ひませうね。」

云ふを遮つて、

「百合子を喚びに遣る事は見合した方が宜いでせう。」

「だつてお前、明日出發なら一二年の間の別れだもの、君も知らせもせずに立つて御覽、後で甚麼に殘念がるか知れやしない。」



「ですけれど、まだ婚禮して物の十日も經つか經たんに、這麼可厭な事聞かして御覽なさい、折角の喜も消ねて了ひます、私だつて當分の別ですから些とでも逢ふて行きたいは山々ですが、逢つた所で猶且爲方無いです、ああ云ふ神經の過敏な性質だからそれがために心配さすも可愛相です、どうぞ私が出發した後で、時機を見て心配さゝないやうに聞かしてやつて下さい。」

「では然う爲ませうけれど、嘸殘念に思ふでせうよ。」

「それから後の入費として一萬圓だけお渡し爲て置きますから、銀行にでも預けて置て、どうぞ不自由のないやうに暮して居て下さい……私ですか、私は要るだけの用意は爲てますから大丈夫です。」

かくて、其夜は更闌るまでいろいろの物語に時を過して、翌朝はまだ近所隣家の起きぬ間に家を出て、態と品川停車場から一番に乘つて出發した。

●蓄音器 各種 新譜 各種 新荷着
東京三光堂 蓄音器韓國總代理店
京城本町 辻屋 本店電 二四八 支店電 三六六

丸善新刊工業書類

大阪高等工業學校長 安永工學博士校閱 浦上正二郎氏著
機械設計實用表
最新 石版着色入六十版 菊判洋裝一冊 價一圓九十五錢 郵税金十八錢
表彈條公式材料强弱、革車、鋼車、高壓力管及弁六十余表を收めたれば機械設計家の卓上欠くべからざる良書なり

第四高等學校教授 工學士久保田圭右氏著
製圖者必携
最新 菊半截紙數一百頁 袖珍美裝一冊 正價七十五錢 郵税金六錢
羅馬ゴシック伊太利普通字體の書方より圖字體、地圖縮尺、雛例並に計數を記したるものなれば單に製圖者のみならず歐文の著板等をなすには尤も便利なり

東京帝國大學工科大學教授 的塲工學博士校閱 香村今泉兩工學士共著
鑛山測量術
菊判洋裝一冊 紙數二百七十 價一圓五十錢 郵税金十二錢
斯術の礦業上必要なるは喋々するの要なし此書は今回發行の第五版に至り更に一大改訂を施し斯術に關する最新方法を蒐め全く面目を新にしたり

東京帝國大學工科大學助教授 工學士荒川文六氏著
改訂電氣工學
改訂新版 菊判全一冊 紙數一千二百 價三圓五十錢 郵税金三十錢
去る卅七年に初版を出したるものを更に斯學の進步と共に大改訂を施したるものにして初版に比すれば殆んど二百餘頁を增補したり

東京帝國大學工學助教授 工學士內丸最一郎氏著
蒸汽ターピン
最新 菊判紙數三百 挿圖約三百個 正價一圓八十錢 郵税金十二錢
蒸汽ターピンの發達、原理及各種ターピンの裝置に就て機關の全型圖及部分裝置の寫眞版等を挿み極めて平易に說述せられたるものなり

東京高等工業學校教授 吉武理學士校閱 染織學校教諭 中島武太郎氏著
實用染色學
第二版 菊判洋裝一冊 紙數四百餘頁 價金一圓 郵税金十八錢
色染法の意義より用水、藥品、精練漂白、浸染、染料の混合に至る迄色染に關する萬般の事柄を叙述し附錄として和洋色器及び色染に要する度量表等を揭げたり

東京帝國大學教授 工學博士中村達太郎氏著
日本建築字彙
第四版 紙數四百 挿畫六百 價一圓六十五錢 郵税金十二錢
建築に關する各方面の必要なる語を集め全部をいろは引として說述せられた形其他の圖畫六百餘個を挿み專ら實用を旨とせるものなり

海軍機關大尉 條清三郎氏著
電氣計算法
新刊 菊版洋裝全一冊 紙數六百餘頁 正價二圓五十錢 郵税金十八錢
全編を十二章に分ち電氣計算上尤も必要なる公式算式を擧げて說明し又多數の例題雜題を列擧し一々之に答を附し計算法の原理を明にせり

東京○大阪○京都 丸善株式會社
振替口座 東京五、大阪七四、京都九八九〇番

京城新報

(英文) 統監の治績報告

統監府に於ては英文を以て統監の治蹟てふ書物の編纂に着手し、近々脱稿せる上は之を印刷して、各國の主權者及政治家其他に配布せらるゝ由に聞く、果して之を事實なりとせば余輩は唯其放膽なるに呆るゝの外あらざるなり。

平生列國に對し、小心翼々たる伊藤公の發意なりとせば更に吃驚するの價あり、大膽ならざる可らざる處に躊躇予として小心たり、細心すべき處に放膽なる擧措に出づ、何ぞ表裏顛倒の甚だしきや、何を以て之を言ふか、然り統監の治蹟を著して列國の主權者及政治家に配送すると云ふに非ずや、天下豈斯る大膽なることあらんや、何となれば統監の治蹟として列國知名の士に告ぐる程の治蹟は未だ擧り居らざればなり、治蹟なくして治蹟を著すと云ふが如きは抑も大膽に非ずして何ぞや。

余輩は更に一歩を讓りて多少の治蹟ありとするも、三年に亘りて多大の國費を投じ幾多邦人の生命財産を犠牲に供したる點等に顧れば、如何に當局者と雖も忸怩たらざるを得ざるならん、然るに之を公然印刷して列國に告ると云ふに至てつは寧ろ厚顏に驚かざらんや。

若し夫れ此擧を事實とせば、其目的や奈邊にある、統監政治の實況は各國の駐在領事ありて其目擊せる處を常に本國政府に報告せり、然るに強て其治蹟を吹聽せんとする目的の那邊に存するやを疑ふ、若し其治蹟にして美事に擧り、列國に對して誇るに足るべきものありとせば之を宇内に報告するも亦快事なり、然れども今日迄の我統監政治は誇るに足らざるのみならず、失政多くして事實其蹟の擧りたるものを知るに苦しむ、斯る現狀を以て如何に其治蹟を著し之を公にせんとするや、惟ふに其著述の困難なる筆を投じて冷汗の腋下に湧き來るを禁ずる能はざるべし、斯る不快の擧を敢て行ひ以て吹聽するの必要あるか、余輩は日本男兒として之を潔しとせざるなり。

糊塗粉飾成功を短日月の間に收めたる如く裝ふて、列國に之を誇らむとするが如き、卑劣なる考案より出でたることには非ざるべしと雖も、暴徒は未だ鎭滅せず、地方の行政尚亂麻の如し、中央の政界亦暗憺として風色平靜ならず、統監政治は些少の發展を見ざるときに於て斯る著述を列國に頒布すると云ふに至ては、其心事の卑陋を疑はざるを得ざるなり、余輩は此事の齊東野人の浮說ならんことを望むと雖も、偶々信を置かざる可らざるの說を耳にせるを以て茲に其不可なる所以を言及して當局の反省を促さんとす

●兩社合併不認可

韓國興業會社(商事)と韓國拓殖會社(民事)とは去三月兩社共株主總會を開きて合併決議を爲し東京區裁判所に對し認可申請中なりしが愈よ十三日裁判所は兩社に對し不認可の指令を交付せり右不認可の理由は凡て商事會社は商法の規定に依りて支配せられ民事會社は民法の支配を受くるものなるを以て兩社は法律上合併すべき性質のものにあらずと云ふにあり

●漢城便り

▲滿韓一体經營論內地民間の識者政府の要路者軍人間等に行はれ候由最近の通信にて承知仕候我帝國にして眞に大陸發展を遂げんとせば斯る議論の起るは當然に御座候記者は本論を聞いて賴母敷感ずるものに御座候

▲ソレかアラヌか韓國鐵道と南滿鐵道とを合併せしむべしとの議論も漸く頭を擡げ始めし樣子に御座候何事も合併大組織を要する世の中に御座候へば斯る議論の起るも決して不思議には無之と存じ候

▲宮內府の財產整理も略片附き候との事當該諸官のお役目大儀に存じ候表面に現はるゝ花々敷事のみが韓政の改善には無之候東洋に於ては今尙は國政の改善上宮廷の改善を必要と致居候

▲夫に就ても記者が統監に要望致候は承寧府の革清に御座候同府は太皇帝のお臺所なる由なるが該府が今以て伏魔庫と相見え候は全く統監か指を染められざる爲ならんかとも存じ候日は正に傾かんとす此際進むに御躊躇は御無用と存じ候

▲李允用の落下は世人の一齊に喜ぶ所ならんかとも存候彼の退職が自動的なるか將他動的なるかは今更問題と爲すの要さへ無之候彼が唯一の謀主山月と雖ども今は如何ともする事能わざることゝ存候

▲某博士の談に因れば平壤炭は其質に於て將其量に於て中々有望なるものゝ由に御座候併し其筋に於ては該炭を市場に賣出す事に付て未だ何等の成案を有し居らずとの事に御座候寶の持腐れは感服不仕候何とか御工夫可然と存候

伯林電報

▲黑龍鐵道案可決

露國議會に於ける黑龍江鐵道敷設案はストルピンの熱心なる演說の結果可決せられたり(十六日東京經由)

東京電報

▲來年度豫算

來年度の豫算大綱は閣議に於て略々方針を定めたるも目下調査中なる鐵道特別會計案の成否決したる上編製の運びとなるべし

▲政友會晚餐會

政友會の晚餐會は出席者百三十餘名あり西園寺總裁一場の演說をなし五時散會す

▲海相の松島沈沒調査

齋藤海軍大臣は昨今馬公に在りて松島艦沈沒に關し調査中なるが意外に時日を要する模樣にて歸京は二十五日頃ならんと云ふ

▲川上眉山の自殺

小說家川上眉山は昨日自殺を遂ぐ原因未だ明かならず(以上十六日發)

●博覽會殘務報告會

京城博覽會殘務整理濟みとなりしを以て鶴原會長は一昨日[illegible]人々を招待し報告會を開き鶴原會長より殘務整理の狀況及び決算を報告され[illegible]るが後日韓實業協會創立相談會を開きたるが會長は鶴原定吉氏副會長は京城理事官三[illegible]五郎漢城府尹張憲植の兩氏にて評議員は博覽會の評議員たりし人々を推選し幹事其他の役員は追て推選することゝし散會したり尙は博覽會の剩餘金二千七百七十六圓六十錢は日韓實業

雜報

●觀察府移轉と淸忠兩州

忠州及び淸州に出張赴任せし松井內部警部の談によれば淸州は韓人戶數約八百にして日本人は官吏を除き僅かに八拾餘名住居するに過ぎざりしが今回觀察府を置かるゝ事となりてより一般の人氣大いに活氣を帶び既に日本商人の來りて店舖を開きたるもの三戶を增加し尙續々來住する模樣あり土地の如き未だ賣買せられたるものは無き如きも從來の價格に二倍の騰貴を唱へ大いに前途發展を期し居れり此れに比し忠州は人氣大いに沈衰し一般に前途を悲觀せるものゝ如く商人も貨物仕入の準備を中止せるの有樣なり隨て移轉を公告せられたる際土地の儒生兩班等大いに之れを遺憾とし郡衙其の他へ種々請願したるも行政の便宜上止むを得ざる事を說明せられ無事移轉を了したりと云々

●免罪文憑廢止の議

暴徒の歸順したる者は其の罪を免じ免罪文憑及び銘心書を與へて監視に付せらるゝ事となり居るも免罪文憑の交付は却て暴徒に利用せらるゝが如き弊害ありとは既に傳へられたる所なるが當局者も茲に鑑みる所ありたるものゝ如く歸順者には銘心書を與へて監視に付するのみとし免罪文憑の交付は廢止すべしとの議あり目下研究中にして不日決定せらるべしといふ

●金融組合の監督

地方農民の金融を緩和し農業の發達を企圖する目的を以て組織されたる金融組合は從來度支部理財局に於て直接に監督をなし居りしも設立豫定數五十箇所の內既に四十六箇所の組織を終りたる今日中央よりの直接監督は事務の敏活を缺ぎ監督を完ふするを得ざるを以て今回各地の財務監督局をして第一次の監督をなさしめ理財局第二次の監督をなす事に規定せりと云ふ但し從來と雖も財務監督局が法令の規定上監督權を有せざりしも事實に於ては其の事務を管理せしものゝ如し

●ベッセル事件の公判(第二日)

一昨十六日は午前十時開廷し被告人ベッセルを召喚して大韓每日申報社創立の由來及び今日に至る迄の狀態を審問し且同新聞主筆梁起鐸を喚出して被告ベッセルとの關係及び其の新聞社に於ける職務に關し又二三韓人を證人として出頭せしめ大韓每日申報の記事に對する感想を判事及び辯護人より訊問し其の答辯に基きて被告の辯護人は大韓每日新聞の記事に何等韓人に刺激を與ふる事なく從て被告の行爲は治安の妨害秩序の紊亂をなすものと認むる事を得ざる旨を辯護し午後四時閉廷す同日は光州暴動の巨魁閔宗植其の他學生等出頭したる筈なりと云ふ尙既報中少しく相違の點ありたるも重要の部分に非ざるを以て詳記せず

●優詔李允用に下る

宮內大臣李允用氏辭表を呈し特進官に任せられたることは既報の如くなるが右更迭と同時に左の詔勅を賜はりたり

詔曰宮內府前大臣李允用辭疏縷已許副矣當此府務整理之秋以若斷忠悃豈宜便辭朕知其病實故不忍强策以供劇從一品李允用特命宮中顧問官以大禮遇

●手當金下賜

岩倉侍從職幹事、末松子爵侍醫、栗原宮內書記官等は韓太子御用邸建築に關し勤勞ありしにより韓皇より五百圓宛の手當を賜はりたりと

●兩次官更迭の發表

農商工部次官岡喜七郎氏が內部に內部次官木內重四郎氏が農商工部次官に轉任すべきことは既報の如くなるが昨日の官報に發表せられたり

●韓字新聞押收

桑港在留鄭在寬の發行する共立新報八十三號は治安に妨害あるを以て發賣頒布を禁止し押收されたり

●京畿道農作と賊徒

京畿全道を通じて憲兵警察其他軍隊の配置稠密にして絕へず賊徒の偵察討伐等繁多なる爲め百名以上の群を爲して潛行する賊徒は漸次其跡を絕ちて數十名より多からざる少數賊團の出沒を見るのみにして之等の賊徒も白晝行動することなく概ね夜陰に乘じて比較的富家より財物を掠奪するものなれば隨て播種耕作に及ぼす影響甚だ少なく然れども或一部に至りては賊徒の劫掠又は壯丁拉去等の爲め到底居住に耐へずして他に轉住或は一時避難したる爲め播種耕作の時季を失したるもののなきにあらざるも之等は極めて少數なり

△高陽郡元堂下道兩面は公廟數ヶ所あり孰れも比較的深山僻陬なれば賊徒の棲窟とし賊魁朱の一團頻りに往來するを以て農民等の轉住壯丁等避難する爲め荒廢に歸したる田畑を生じ尙播種耕作の季に遲れ秋收を杞憂せるもの少からざりしも五月八日以來憲兵の朱の一團を掃蕩し殆んど全滅に至らしめたる結果此地方は賊徒の出沒なく頗る平穩に歸したるを以て五月初旬頃は盛んに播種耕作に從事せり

△楊州郡白石面內の一部及長興面の一部は從來賊徒の出沒頻繁なるため農民業に安んぜず播種耕作上多少の影響を及したるを免かれず又廣岩里座起洞に於て昨年十一月中賊徒の爲め耕牛を奪去せられたる爲め本春播種季には稍々遲延の感ありたるも他洞より牛馬の融通を受け兎に角播種耕作を了せり又上道面與官面乾川面地方は未だ平穩に歸せず賊徒の出沒稍頻繁なるを以て他に避難せる人民は未だ歸家せざるもの少からず又同地方より賊徒に與したるものゝ如き家族をして移住せしめたる者も多きを以て彼等の所有に係る田畑は荒廢せるもの多少認めらると(未完)

●漁業と暴徒

釜山水產組合にて嚮に江原道及び慶尙北道

●關稅同盟に關する調査(續)

然り而うして單に關稅同盟と云ふも人に依りて其說を異にし意義明確を缺くの嫌なきにあらず依て本會は茲に本會の所見を特記して其意義を明にせんと欲す曰く

韓國現行の關稅法規を廢棄して之に代ふるに我帝國の關稅法規を以てし日韓兩國の間に於ては互に其輸入品に對して關稅を賦課せざることゝ乃ち日韓兩國を通じて我關稅法規施行の區域と變ずるに在り此方法に依れば兩國間の現存する通商貿易上の障壁は全然撤去せられて彼我經濟の共通發達を促進することを得ることを得ると共に夫の關稅逋脫の目的を以て第三國より韓國を經由し我帝國に詐欺不正の輸入を行ふが如き弊害は嚴格に防止するを得可きなり

關稅同盟の實行に對して通商上韓國と利害の干繫ある第三國は或は利益の均霑を唱へ若くは異議を挾むの疑なきにあらざるも從來韓國に對して通商貿易上重要の關係を有するものは唯だ我帝國あるのみ而して淸國は多少の貿易を有するも他の列國に至りては殆んど見るに足るべきものなし即ち左記統計は明に之を證示すべし

國名		三十五年	三十六年	三十七年
日本	入	八、六六九、三三〇圓	一一、五五四、九六九圓	一九、〇〇七、二八七圓
	出	一一、五五三、九四七	一三、〇五五、八二一	一〇、六九八、〇一七
	計	[illegible]	二四、六一〇、七九〇	二九、七〇五、三〇四
淸國	入	四、八二三、三〇八	五、三五八、六〇〇	[illegible]
	出	[illegible]	一、五四九、四六〇	[illegible]
	計	[illegible]	六、九〇八、〇六〇	[illegible]
英國	入	―	[illegible]	[illegible]
	出	―	[illegible]	[illegible]
	計	―	[illegible]	[illegible]
露領	入	一九、八八一	[illegible]	[illegible]
	出	三三、三三〇	[illegible]	[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
米國	入	―	[illegible]	[illegible]
	出	―	―	―
	計	―	[illegible]	[illegible]
合計	入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	出	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

(備考) 本表輸入とは韓國への輸入輸出とは韓國よりの輸出

如上の數字に徵すれば韓國貿易の大部分は我帝國之を占め淸國の如きも殆んど我四分の一に過ぎざるなり然れども若し通商上の利害干係よりして日韓兩國の關稅同盟に對し不服を唱ふるものありとせば唯だ淸國なるべきも由來淸國は政治上通商上我帝國の助力と扶掖とに荷ふところ少からざるを以て我日韓商策に對し固より異論を提唱するの愚を學はざるべきは勿論他の諸國に至りては其の通商は干繫の極めて些少なるの故を以て抗論異說を主張するの謂れなかるべし

●巡查受驗資格

來る二十三日警視廳巡查採用試驗施行に付志願者は來る廿二日迄に警視廳第一課に履歷書を添へ志願書を差出すべしと受驗資格は左の如し

一、年齡廿年以上四十年以下のものにして左記各項の一に該當する者

判任文官たる資格を有する者或は前に判任官以上の職を奉せし者

巡查精勤證書を有する者或は前に巡查職にあり退職後滿五ヶ年を經過せざる者

陸海軍下士適任證書を有する者

一、志願書を差出たる受驗志望者は別に通知狀出さゞるに付當日は午前十時筆硯携帶警視廳第一課へ出頭の事

一、今後は隨時試驗施行の筈に付志願者は何時願書を提出するも之を受理す

●伊東服部兩氏送別

今回伊東祐侃氏は京城日報社長を服部暢氏は同主筆を辭し同時に記者團より離れらるゝことゝなりたるを以て大村大朝久田時事今井朝鮮戶叶大韓の諸氏及本社の峯岸發起人となり本日午後七時花月樓に於て兩氏の爲に送別會を開催する由なり、尙兩氏の友人にして出席希望者あれば幷は隨意なりと云ふ

●軍隊慰勞の活動寫眞

昨夜七時より南山本願寺に於て愛國婦人會の主催のもとに軍隊慰勞活動寫眞を催したり

●軍隊慰問會

愛國婦人會韓國本部にては豫期の如く昨今兩日午後七時在京城駐剳軍隊憲兵隊を本願寺に招待し慰問の活動寫眞會を催す由なるが尙龍山駐在の軍隊に對しても一夜慰問會を催す由なり

●臺灣會

昨日午後七時より京城日本人俱樂部に於て會て臺灣に在住せし人々のみ會合して臺灣會なる者を設け每年一回開催して其親睦を計ると云ふ因に當夜は石塚參與官其他官吏軍人實業家等約百餘名なりと

●演藝會報告慰勞會

先般來開催したる慈善演藝會は委員諸氏の盡力に依り良好なる結果を得たる由なるが本日午後三時日本人俱樂部に於て其報告を兼ね慰勞會を催す由なり

●大庭貫一氏

氏は目下平壤居留民の重なる人々より同地民團長の候補者として推されつゝある由なるが氏の臺灣に於ける民政の經歷年齒風采等は良民長たるに餘りありとの事なり

●梶島事務官の出張

梶島度支部事務官は平壤礦業所事務視察の爲近々出張すべし

●齋藤警視の歸京

黃海道平安南北道の警察事務視察中なりし內部警務局保安課長齋藤警視は其の視察を了し一昨夜歸京せり

●ヒンツ氏の死去

關稅局囑托獨乙人ジェリアス、フレデリック、ヒンツ氏は本月十日頃より病氣の爲め官舍に於て療養中の處去る十六日午後三時遂に死去したり同氏は廿餘年間勤務したる趣にて本日午前十時同氏官舍に於て葬儀を行ふと云ふ

●松井警部の歸京

忠州觀察府を淸州へ移轉せらるゝに伴ひ同警察署も移轉せらるゝに付其の事務視察のため同地に出張中なりし松井內部警部は一昨夜歸京せり

公人私人

△三井久陽(平壤監獄典獄) 一昨日出發

△木戶友藏(一等主計) 一昨日來京山本

△新藤寬三郞(海州裁判所檢事) 巴城館

△柳橋文次郞(忠州裁判所判事) 同上

△鈴川和彥(大同生命保險社員) 不知火へ

△武田麻次郞(同上) 同上

△小野篤次(公州裁判所檢事) 三日月

●近事片々

▲再昨● 統監邸內深更李總理と宋內相と激論數時間に亘り互に面色を變じ挑論せりと

▲觀察● 使半數任免の權限爭ひにして双方相讓らず統監の裁斷に依りて事漸く和ると

▲李宋● の軋轢は日增に募り到底永く和する能はず破裂近きにありと觀測する者有異乎

▲宋氏● 孤立と雖も背後に彌陀の光あり爲に權勢衰へず茲數日間に勝敗は決すべしと

▲允用● 愈々宮相を辭し閔丙奭後任となる丙奭素是允用幕下の人其更迭名の異るのみ

▲允用● 退任するも與黨宮中に蔓る肅淸せんとせば更に一掃を要す當該之に氣付ずや

▲丙奭● の人物を知るもの更迭の意義に迷ふ廉潔崇高の元老を何故撰まざる乎疑はし

▲帝室● 財產を國有にすることに於て允用に怪しき擧動ありと聞しが果して噂頻々也

▲帝室● 財產を國有にすることは宋氏の發意なりと宮中雜輩の怨望宋氏一人に集ると

▲宮中● の雜輩等宋氏を憎み逆賊と罵り內閣より放逐せむとの密議ありとは異なる乎

▲一進● 會の活動は更に一段を加へ來れり久しく眠れる同會の急に覺せるは何の徵ぞ

▲評議● 員會は內閣總辭職を勸告する事に決し之が爲には死を以て當らんとの事なり

▲決死● を誓ふ者數十人各部署を定め內閣總辭職を勸告し之を貫徹せざれば止まじと

▲地方● 會員の入城する者續々殆ど示威的決議をなすとの事廟堂の風色動くとは異乎

▲大韓● 協會亦步調を一にするの風聞有由來犬猿の間柄も計られざるは韓人の特性

▲漢城● 政界の雲行何となく暗憺たり茲一變動必ず來るべし李宋の勝敗今にトせらる

▲大臣● の交替のみにては納るまじと思ひしに果して然りと觀測子頻に鼻うごめかす

▲曾禰● 子の歸任は亦下旬に延びたりと左らば統監の歸東は來月上旬なるべしと云ふ

▲一度● 踏み出したら後へ退かぬ決心の曾禰子が歸任後の行動は見物なれ刮目を要す

▲後藤● 滿鐵總裁より歸る得々語る處不相變元氣にて小氣味よし何を爲ても豪の者也

▲曰く● 大連は浦港と兩立して世界交通の大動脈たらしめざる可らずと意氣益々壯也

▲滿州● 鐵道は世界交通の樞要機關とせざる可らず最初就任の時より此覺悟有と快也

▲犬養● 木堂進步黨大會に經濟的軍備擴張と云ふ珍說を述ぶ要は大膽の平和政略實行

▲東京● 第一中學校長勝浦氏韓人に日本語を襲用せしむるは不可と氏未だ韓を不解也

諷詩林

新學問

頑愚未識五洲狀。須養人材育俊英。
格物致知新學問。聖明垂勅訓儒生。

前號風氣作風紀●

●兩社合併不認可

韓國興業會社（商事）と韓國拓殖會社（民事）とは去三月兩社共株主總會を開きて合併決議を爲し東京區裁判所に對し認可申請中なりしが愈よ十三日裁判所は兩社に對し不認可の指令を交付せり右不認可の理由は凡て商事會社は商法の規定に依りて設立せられ民事會社は民法の支配を受くるものなるを以て兩社は法律上合併すべき性質のものにあらずと云ふにあり

●博覽會殘務報告會

京城博覽會殘務整理濟みとなりしを以て鶴原會長は一昨日[illegible]係ある人々を招待し報告會を開き鶴原會長より殘務整理の狀況及び決算を報告されるが後日韓實業協會創立相談會を開きたるが會長は鶴原定吉氏副會長は京城理事官三[illegible]員は博覽會の評議員たりし人々を推選し幹事其他の役員は追て推選することゝし散會

雜報

●官吏本位の京城（四）

▲賭博の見張は大頭

電燈に映れて美くしい玄關の金屛風の側をズウッと奥に通りて去程は廣からねど閑寂な座敷、其處に男女立交りの五六人、圓座を作りて一同何事にか無我夢中、甲が怒れば乙が喜び、乙が顔しかむれば、丙は笑ふ目を張るもの肩を振るもの、胡座を掻いたる、立膝したる腹立しき相に、前髪を掻く女あれば得意に胸を反らす男あり、而かも時々頓狂聲に淫猥なる言を喋舌つては一同ドット笑ふ、樂しいのか苦しいのか、可笑しいやら悲しいやら、札飛び小切手走りて一同は唯血眼、濛々と立昇る煙草の烟り室内を垂れ込めて時の移るも知らぬのである、無論二階で將た隣座敷で、嬌めかしい歌聲も騒々しい笑い聲も聞ゆる道理が無い、斯くて此の座敷のみには雨も注かず嵐も吹かず花は繚亂たり、唯廊下を走る、階段を上下する、仲居のみ忙しうして此家の帳場の生白き顔すら福德相に見らるゝのである、

あゝ此の家を何處となす、此の五六人の大一座を何となす、將た又二階の、隣座敷のサンザめく客を何とか爲す、敢て短かい筆を振廻はさずとも讀者は略想察することを得るであろう

去年の夏、政變の頃は漢城の人も犬も騒動々々と狂ひ廻りて中には一睡の閑きに得られなかつた連中もある、斯かる時。市中の各商家は今にも天地引繰り返る時が來るかと安き心なく、隨て商賣は不印、逃げ腰の早い連中は家財家具の後始末の事まで心配した向もあつた程だ、而るに獨り大きな料理屋のみは夫れ何の會合此の會合と徹夜間斷無き會合を以て忙殺され、其の玄關には馬車が横附され後押車が重なり合ふと云ふ景氣、「旦那姿も三日間一睡もせないのですよ」とは其の會合の去る大官に其處の乾女が語つた處であるとか、斯かる時には或る料亭の離れでは例の五六人の車座が血眼になつて兎角浮世は色と酒以外の娯しみに耽つて騒動々々と其の騒動に囈く世の小賭者等を冷笑して居つたと云ふ

去る野暮な客が或る處の女將に「お前家は近頃餘り之れが（此の時此の先きを押へて）甚しいとの評判だよ、要愼しないと吹くぞ祭八風が」と冷やかすと其家の女將はムキになつて「ヘン檀樣、手前處はチヤンと大頭が着いてますからね、大概隣座敷にや來ていらつしやりますよ、幾ら誰れが八釜しく云つたつて如何するてんでしよう、巡査さんや刑事さんが若しも一足でも踏み込んだが最後直きに鼻の下が干上りまさァ」と最ど傲然たるものであつたとか、何や恐れ入り山高い樣式では無いか。

●會寧發展策

會寧が間島と關連して北韓に於ける樞要の地たるは人の知る所なるが今同地に關係ある某氏の會寧地方發展策の急務として語る所左の如し

第一、淸津會寧間に交通機關の設備を完全にすべし

現在の輕便鐵道が其の便益の完からざるは人の知る處にして若し現狀に放置せば間島の貿易發達せず淸津を開放せる目的を達する能はざる可し北韓開發上第一の急務は交通機關の改善を圖るに在り

第二、間島に新貨の流通を圖るべし

間島に於ては現時新貨の流通を見ざるに非ざるも淸貨露貨の流通大部分を占め新貨は約五六萬圓の流通に過ぎざるべし而して新貨の流通少きため農民が江南に對する需用を減じ會寧に在る商人のためには大なる惡影響を及ぼせり故に間島に金融機關（農工銀行出張所の如き）を設け一面貨付によりて新貨の散布を圖り同時に一面兩換を營ましむる方法を採るべし

第三、會寧に倉庫を設置すべし

北間島より淸津地方に仕向けらるゝ貨物も一先づ會寧に停留し一方淸津より間島に入るべき貨物も一時會寧に在りて顧客を待つの現狀なるを以て會寧は北韓に於ける商品の一大停留地と見るべく此の地に適當なる倉庫を設備するは最も緊要なる事なるべし

●男に斬り付く

△賭博の上の喧嘩口論より▽
△姦通呼はりされた悔紛れ▽

鹿兒島縣生れ當時若草町一丁目に居住する國生トメ（三十）は一昨十六日午後十一時其の向い合せに住する長崎縣生れの本田與三郎（五十）の耳朶に出刃庖丁を以て斬り付け長さ約一寸に及ぶ傷を負はせたる廉を以て即時南部警察署に引致されたるが今其の事情を聞くに此のトメと與三郎とは豫て懇意の間柄なるに依り双方常に來往して時々賭博などをなし居りたるが一昨夜も亦二人して賭博の最中何かの感情より與三郎はトメに向ひ散々惡口を吐き貴樣は亭主の留守には常に姦夫をするでは無きかなど毒吐きたり然るに當夜はトメの内緣の夫なる玉木民藏も現場に居ることゝ故トメは痛く與三郎の言に立腹し爰に一大口論をれつ初めたるが遂に短氣のトメは手近にある出刃庖丁を取るより早く與三郎の耳朶に斬り付けたる者にてトメの内緣の夫玉木は斯くと見るよりトメの出刃を取り上げたれば幸に傷は格別の事も無くして濟みたるが濟まぬは與三郎女房情に斬られたる悔し紛れ自ら警察に訴へ出でたれば警官出張してトメを引致し尚與三郎も同時に引致せられ目下取調べを受けつゝありと

●一風異つた客　三四日前のことなりとか明治町二丁目の料理屋敷島に年頃三十四五の人品卑しからぬ一人の客入り來り階椅に座敷に通りて扱て云ふ樣自分は料理を食ひに來たるにあらねば肴は別に欲しくも無し唯ビール一本だけ持ち來れとの事に敷島にては此の男ァンザラの客にあらず惡んなのに却て奇麗に金使いをするものあればゆめ怒ろかになすべからずと云ふが僅にビール一本のみ出したるに此の客大滿足の體よしく夫れにてよし別に要は無ければ女ども呑れの呼ぶまで來る勿れとて懐ろを捜して夏橙子一個を取出し悠々とビールのコップを傾け初め次で隣座敷にありたる三味線を自ら持ち來り唯一人爪彈きの歌も節面白う興するにぞ敷島にては此の客少し氣が觸れて居るなど暫し其の爲す儘に任し置きたれども何時まで經ちても歸ろうともせず益得意になりて騒ぎ散らすにぞ亭主敬々しく其所に罷りつゝ出憚り乍らを繰返して客に退散を迫れど容易に承知すればこそ已れには耳なし何も聞かぬ傳兵衛さんなど語り出して如何な主人の言を聽入れざれば亭主も今は持て餘し仕樣事なしに酌婦等を嘗り散せば此の客初めて驚きたる體、自分の來りたる爲め罪なき女にまで心配掛くるは心外千萬去らば之れにて引取り申すとビール一本の代金支拂い悠々閑と引上げたりとか今時異つた客もあればあるもの



何んでも目出度〳〵の若松さまにの諸の文句に因める結構なる屋號とは知られにきサ此の料理屋に今年取つて二十になる男にあらぬ正眞正銘の女にて正に實際確平した婦人あるが此の女年に似合はず遣り手にてれ客の二十八や三十八手玉に取るは朝飯前のれ茶の子敷の子明太の子ツノ明太の子の唐辛臭きヨボ達でも○さへあらば宜い旦那朝來て晝來て晩に來てソウしてセッセと注き込みな、○がなくなりや旦那ではない飽屑、尻をまくツて一昨日來い何につけても金の世だ金のない人わしや好かぬといつたやうな寸分の女なるが其の辦此の女御面相の程はサツパリ振つて居らず杵でヒサいで摺鉢でコテて揚句の果ては電信柱にブツ付けたやうな餘程念の入つた顔なるが什麽した譯合か此の女に引きかゝるデレ助連の多きぞ異から〳〵不思議なり、サテ數多きデレ助連の中にて此の女が惚れて〳〵惚れ拔いて此の世はたろか彼の世迄たまはんの爲めなら釜の熱湯に水攻め火攻めはれろか明治町の耶蘇教會堂のテッペンから倒さに落ちたとて何の苦とは思ふぞや二年經ては自他の身体思へば其の時が待ち遠くして溜らないツレ迄はれ互にまめで達者で辛抱するが何よりの願ひと男の膝に取り縋りては未來の樂みを語るもの〻更に男の方ではツノ女に氣がなく宜い加減に手を切らんと考へ居るとは神ならぬ身のヨモや知らう筈はなからうかとの投書

金を支拂はぬからとて其の家財を引さらひたが其筋から說諭を受けて青くなつて引下がつたは少し滑稽である（附近の人）▲搦翠の仲居岩崎はるちやんは仁川紀念祭の福引きが大當りでほく〳〵者だ（涌山女）▲韓洋亭の料理は安くて甘い洋食では何と云ふても韓洋亭と巴州亭が一等だ（公平生）▲感情に走る勿れ少しく冷靜の判斷を加へよ然らば妄りに他を怨むこと無けん（非人情）▲此頃本町座の「百年の仇」を覗いたが一同大車輪に演つて除ける熱心には殆んど感心したを表はして居る特に姉竹子に小指を切つて見せて自分の心中を推察して呉れと涙を浮べたあたりは看客を動かした事甚しい次ぎに濱の竹子も其の惡さげの態度濱一の温順と相對して極めて好く出來た稻村の伊勢吉料は善く出來たが衣裳が借物らしく見ねたのは遺憾である蜂松の幸二郎は素よりれ手の者總始よく出來たが花道にて兄の濱一を救はんと飛んで來た時などは遉が〳〵と看客一同をアッと云はせた（好劇生）

●天氣豫報（自十七日午後六時至十八日午後六時）

東の風[illegible]

十七日午前六時各地氣象概況

一般に靜穏にして南東部及城津は晴天なれども其他は曇天なり

●吉原が明くなれば　内は暗ど實に穿ち得たる眞理なるかな新町の遊廓も夕されば何處の樓も電燈燦き晝をも欺く如くなるも此等電燈代を拂ふ遊治郎の家は何時も暗なることそ發てき極みなれ製　溺る木覓山の麓に何の薫と呼びて或る所に勤め上長の覺へも目出度ければ儕輩間には仲々に羽振りも好ければ何れも薫若薫君とて敬ひ居れど持つて生れし女難の相は遂に深き淵に陥落するの基となりしぞ是非もなき薫君は同僚は勿論世間の女より好い男と言囃さるゝより自分は好男子である自分が料理屋乃至遊廓に一足踏み込むだが最後女と云ふ女は片つ端から撫斬するは朝飯前のことだ大に自惚れたのが抑もの誤りにて家には可愛妻さいいけ盛りの子供のあるにも拘らず淫賣屋は勿論遊廓月に幾度となく通ふのみならず或る人の妾者さへ手に入れて内を外なる夜遊びに家に寢ることは殆んど稀れなる振舞ひに妻は頑是なき子供を相手に空閨を守るのみならず月末役所より受取りし給料さへ條々渡さゞれば各商店への支拂さへ出來ざる仕儀なるを憲は不氣にて遊び廻るにぞ家は愈よ黒闇となりて廻るは火の車のみなるも妻君は之を訴ふるに所なく只だ愛の子供を相手に現世を喞ち居るとの投書ありたり

●腸窒扶斯　櫻井町百四十八番戸内田悟（二七）は窒扶斯に罹り一昨日避病院に送られたり

●科料　新町三丁目に居住して洋服の丸洗を業とする某は去る十一日淸國總領事館塀に廣告の貼札をなしたる廉にて科料金二十錢に處せられたり

●本町座替狂言　第十回日本夜の藝題は「松風村雨」にして重なる役割左の如し

矢田闇一（いろは）柴田彌之助（石巻）栗原理學士（稻村）讃曾石橋（葉山）大山妻絹子（濱）楯川昌之（尾崎）女中たあき（玉井）乙哉卅淺子柴田ょ光子（小泉）會社長長谷川（秋山）鶯藏五郎（青山）柴田幸子（坂本）藝妓三代次（杉）北浦乙哉（蜂松）

（平）（民）（文）（庫）

▲大和町浪花湯のお神さんはお客に對して横柄極まる此の間も僕が湯錢を拂つたのに受取らぬとか何とか小言を吐かした誰れが四錢位を贍着する者かと人を見て物を言へ（入浴生）▲本町の數そばは此頃又東京から職人を傭入れて勉強して居る（そば好）▲赤門梅谷雜貨店の店員は皆やさしい（オンドロ生）▲本町葱店の金縁眼鏡君は韓人が僅かの代

●私しの腕は胸三寸　本町一丁目裏通りとばかりにて更に料亭の名は定かならねど

漢城病院を辭して開業
京城南山町第一銀行横町
東京醫科大學專攻 統監府囑託 飯塚徹
仁川分院〇仁川病院前電話二四六（五、十の日飯塚徹出張）
齒科
主任前東京共立齒科醫學校講師 藤井庄次郎

○土耳古金口煙草GD
インペリアル
茶褐色スポルト
各種
京城代理店
歐米雜貨商
岡野商店
京城本町六丁目

刊月 朝鮮
每月一回一日發行 定價一部廿錢 郵稅一錢 一切前金
京城本町二丁目 日韓書房

大東産婆看護婦會
永樂町三丁目五十五番戸
産婆 大島すみ
同 岡上君代
電話（三四）阿比留氏取次

明法學士 特許訴訟代理人 小川勝平
事務所 京城本町二丁目（電話四壹番） 大邱東門外

民刑訴訟鑑定
登記漢城府手續
諸願届代書
土地鑛山測量
集金取立代辨
土地家屋賣買金錢貸借其他諸般ノ仲介
京城本町一丁目 民役所前 岡田事務所 取次電話六二四

諸傘印入並に提灯類
和洋蠟燭あり
京城明治町二丁目 大島商店

廣告



◎疊製造業並ニ表替
京城永樂町一丁目（赤門前）
横井疊製造所

西洋洗濯業 確實にて仕事叮嚀
旭町二丁目理事廳裏
伊丹屋

花莚疊表廉價販賣
京城長谷川町
東亞興業合資會社

西洋洗濯 並ニ 和服洗張
期日正確 仕事叮嚀
京城長谷川町二丁目卅一番戸
有田組

染物並洗張
迅速叮嚀を旨とし染色鮮麗にして確實なるは本工場の特有なり
龍山元町四丁目（元今村跡）
桑澤工場

襖張替 表装一切
表具師 京城本町五丁目
竹堂

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
本店 京城曙町（電話七三番）
營業 同本町三丁目（電話四〇番）
伊藤組

▲既設電話譲たし 姓名在社▼

西洋料理開業御披露
▲西洋料理 一皿金拾五錢
▲アイスクリーム 一杯金五錢
▲ココ 金拾錢
▲カーフー 一杯金五錢
▲チヨクレツ 同 拾錢
▲紅茶 同 五錢
右之通り大々的廉價を以て差上可申候尚此外御好に應ド何品にても調理仕候間何卒陸續御來駕の榮を給はらん事を
京城大和町二丁目二百廿七番戸（本町七丁目横入）
陽氣館

▲京城醫師案内▼

日韓病院
新皇城 大漢門前
各種血清療法 每日種痘

植村病院
内科 外科 婦人科 入院隨意
京城南山町二丁目（電話三三〇）

高井醫院
入院隨意
京城壽町三丁目（元阪井病院跡）（電話二二六番）
院長 陸軍三等軍醫正 高井貞治

中島醫院
病室新築入院隨意
内科、小兒科、花柳病
眼科、外科、婦人科
京城壽町三丁目 清水材木店跡
院主 醫學得業士 中島貞信

十全病院
入院隨意
京城旭町三丁目
電話七三七番

安東病院
入院隨時
内外科 小兒科 産科 花柳病
京城旭町一丁目 電話九一三
院長 安東貞一郎

共立病院
入院隨意各科診療
京城本町六丁目

京城醫院分院
京城西小門通り
院長 菅恒

戸田病院
黴毒 横痃皮下注射療法 包莖無痛手術
内科 外科 婦人科 眼科 小兒科
京城南大門通一丁目日の出旅館に

松岡醫院
眼科内外科
明治町一丁目（本町座前）
入院隨意

(四) (第三種郵便物認可) 明治四十一年六月十八日 京城新報 (木曜日) 第壹百七十二號

西の宮お樂の述懐(十六)

◎愈々八時の會見

私はもう〳〵居無い氣、喜一さん夫婦も此れ迄といふので手を引きましたからいよ〳〵私は鶴澤の家を出まするとソレを聞き付けて日頃心安くして居たお茶屋さんの女將が私を呼び寄せ「お前さんも年期を勤め上げて鶴澤を愈々出ることになつたそうだが此れから什麼するつもりだチ」と親切にも後々の身の振り方を心配して呉れましたが自分でもドウして宜いか纏つた考へもありませんので「サアドウするといつて別に……」と極く曖昧な挨拶をすると「おやア今の所別に斯うと云ふ考へも無いのだチソレならもう一度此の仙臺で稼いて見たらと思ふのだが子……ソリやもうお前さんの生れ故郷の東京のやうなことは何につけたつてありやしないが只呑氣な丈が取り所サソレに第一此れ迄賣り込んで今急におさらばを極めるといふのは何んだか斯う惜しいやうな氣がしてならないから……」と女將の氣は可成私を引きとめて置かうといふのです「私もソウ思はないいちやありませんもう少し仙臺で稼いで見たいやうな氣もするのですがナニしろ先立つものが儘にならないので……」「ソウサ其處もあるよ……併しお前さんだつて今迄此の稼業をして居たのだから爲になる旦那の二人や三人は持つて居やうぢやないか其の旦那に縋つてマヅ士臺丈辨へて貰つたら後は又如何とも相談に乘らうぢやないか……」「サア夫れが無いから心細うムいますのサ」「ヘイどうも見掛けによらない佛樣だチ……併し誰かあるだらう……」「ソウですチ御存知の通りアッサリもので通しましたから……」「ア、思ひ出しました一度關係をつけた人が一人あります」「ナニ一人ある……併し其のお方は爲めになる人かチ」「爲めになるかならぬかは知りませんが……實の所お女將さん丈に打ち明けますがチ日外菓子屋の拂に困つてツヒ仕方がない所から不見轉をした其の時の旦那といふのがありますが其のお方は軍人さんで今軍法會議のお役人をお勤めになつておいでやすから斯うと打ち明けて縋つて見たらヒョットすると金を出して下さらないとも限らないと思ふんですがチ」「成程ソンナた身分のあるお方なら相談になるかも知れないが……併し深いお馴染といふのではないのだチ」「ソウですよ夫れだから私も實は切り出しにくいのですよ」「ダガ當つて碎けろといふ譬へもあるから何にしても其のお方にお前さんから宜く相談をして見るが宜い併し如才もあるまいがお金を出して頂くからには其のお方の持物になるつもりで嚥を持ち掛けなきやア出來るものも出來なくなるよ……善は急げだソレでは早速使を出して其のお方を家へお呼び申すことにしませう」と使を遣りますと今夜の八時に來るといふ返事なのです(續)

一本黒御定紋付　一薄色御定紋付　一小紋染
一友僊染　一更紗染　一御定紋上繪
一染落シ　一洗ハリ　一湯斗熨
一幕　一幟　一印入風呂敷　一法被　一打掛
模樣付　一古代書更紗
其外染物一切御好ニ可應候

仁川仲町三丁目 白木屋染工場
京城大和町二丁目 白木屋分工場

●●驚く可き染色法の進歩●●
但し仕立たる儘
▲洋服類丸染
▲帽子類改造
弊店儀今般左記の處に於て開店仕最新流行の良染法と工師特得の技術とにより如何なる古物も一見新物と異ならざる樣頗る完全に染め直し加之も大々的廉價且つ迅速に調達仕候間何卒續々御用命の程伏て奉願上候　敬白
京城新町三丁目十八番戸(井門樓横入) 横濱シライ商會出張所
北山染工場
工師 北山義政
出張員 管谷武之助
●●如何なる古物も新調同樣になる●●

染
物友仙小紋
更紗黒紋附
其他京染
中井染業店 京都市新シ町錦小路北入(電話千六百二十一番)
同 分工場 京城大和町二丁目二百五十二番戸

仁川富岡茶舖支店 京城本町四丁目
開店
正銘宇治新茶 青々茶園

支店開設
夏物和洋硝子食器洋燈類卸小賣
大阪東區南本町四丁目 駒井商店特約販賣
京城硝子製造所販賣部
京城本町二丁目 林豊商店
京城南大門通り二丁目 林豊支店

新築落成
本院儀豫て新築中の處今般工事落成に付從前の通り町嚀親切に齒科全般の治療に從事す
●診察時間午前八時より午後五時迄
京城本町二丁目(五十八銀行横隣) 野田齒科專門醫院

一各種石炭大販賣
大の浦塊炭　豆田塊炭　大辻塊炭
ストーブ用として右三種取寄せ貯炭罷在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御屆け可申上候
三池粉炭
鍛治用として貯炭罷在り多少に係はらず御用に應じ可申候
當社一手販賣炭左之通り
三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚本洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦、芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等
三井物產合名會社
京城出張所(電話二十六番)
仁川出張所(電話六十三番)

◎蒲燒 ◎鰻昆布卷 ◎鰻八幡卷 ◎會席御料理
◎鰻丼 ◎柳川鍋 ◎すし
京城壽町一丁目 武藏家

御料理
會席 壹圓
同 七十五錢
同 五十錢
京城本町九丁目 小松亭

日本澤庵
味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨
漬物問屋 京城本町五丁目 大上商店(電話二五一番)

▲料理開店御披露▼
弊店儀都合にて一時閉店致候へども今回從前の通り本日より開店仕候間何卒舊に倍し一層御引立御贔負の程伏て奉願上候 謹言
京城西小門通 南方支店



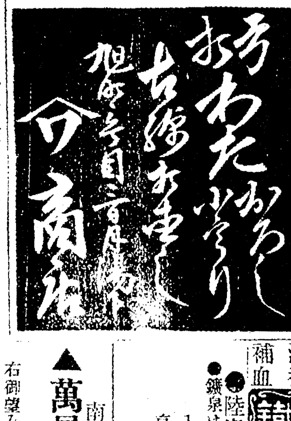
會席御料理 仕出し
京城本町八丁目 富士見樓

●●動物園大會●●
開會 毎日午前八時ヨリ
場所 西小門内新報社隣
本園は世界の珍らしき鳥獸を蒐集し江湖諸彦の觀覽に供するものにて從來の興行見世物類とは其撰を異にし動物研究の材料として實物教育の一端に資せん目的なれば紳士淑女の方々が令息令孃を同伴せられて一日の消閑を試みらるゝには最恰好なる娛樂場なれば陸續御來園の程奉希上候
◎本會の名譽
一、長崎縣知事荒川義太郎氏より感謝狀を贈らる
一、各府縣官公私立學校長より有力なる教育參考品として數千通の謝狀及び證明書を有す
一、鹿兒島步兵第四十五聯隊より感謝狀を贈らる
一、韓國各駐劄軍隊より感謝狀を贈らる
一、日韓各學校より感謝狀を贈らる
四十一年六月
六車萬國動物園

諸衙官用御品調達
各學校用品調達
營業科目
紙類書籍　印刷附屬品　印刷インキ　防腐デシン　穀物食鹽　織物染料
幷に委託販賣
東京 合資會社アライアンス商會代理店
横濱 百六十七番ビユームエンドライフ商會代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 臺灣鹽合資會社食鹽特約店
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京 京橋區南鍋町二丁目 電話新橋三九六二
藤田合名會社

西洋大奇術
自轉車曲乘
支那人曲藝
毎日午後六時開場
京城永樂町三丁目赤門通り 明治齊吉菊一座

●●入院隨意●●
京城本町七丁目 小川病院 電話六五三
●●入院隨意●●



業務擴張廣告
由來辯護訴訟鑑定の依賴に應じ居候處一層業務の擴張を圖り熱心と誠實を旨とし事務取扱候
一民刑事辯護、訴訟鑑定、其他請求事件
本宅 京城旭町一丁目電話七四五番
事務所 本町一丁目南部警察署前
辯護士 莊子斌

原金旅館
本店 仁川理事廳通(電話三二番)
支店 京城南山町(電話一〇七番)

●內務省免許衛生試驗濟●
滋養補血 鐵冷鑛泉 如神驗効
●陸海軍赤十字社御用品●
鑛泉は多少に不拘御用命に應じ可申候
入浴時間 自午前七時至午後十二時
京城本町一丁目郵便局前 鐵冷鑛泉

▲萬昆布店讓たし▼ 但職人付
南大門通四丁目電車踏切
右御望みの御方は御來談ありたし
津瀨光平

サ
京城旭町一丁目八十番戸 理事廳東角上名古屋城の上
電話八二八番
佐藤旅館

韓國京城
株式會社第一銀行
電話番號 營業用 一番　國庫生 六三番　當直用 二番　用度用　營業用三一番　分析所用(六二番)
本店 東京市日本橋區兜町
内地支店、出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東區新大阪町
韓國支店、出張所 仁川、釜山、元山、鎭南浦、群山、平壤、木浦、大邱、開城、咸興、城津、馬山、鏡城
清國安東縣
右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり
營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候
資本金三百万圓
本店 大阪市西區北江堀通五丁目
支店 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 安東縣
株式會社第五十八銀行 京城支店(電話五八番)

爲替取組先

畿內 二十七ケ所	東山道 十三ケ所	山陽道 七十五ケ所	南海道 二十三ケ所	北海道 五ケ所	臺灣 二ケ所
東海道 二十八ケ所	北陸道 十三ケ所	山陰道 十三ケ所	西海道 三十ケ所	韓國 九ケ所	清國 一ケ所

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金參百萬圓
積立及繰越金八拾萬圓
京城南大門通 株式會社十八銀行京城支店(電話四二〇)
本店 長崎市樂町
支店出張所 韓國 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州　日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金
一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日步壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番
京城南大門通 巴・商店 電話三〇六番
●釜山長崎門司神戸行 山東丸 七月五日 後 時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 第一オハヨー號 月 日 後三時出　釧路丸 月 日 後三時出
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 六月十八日 後一時出　山東丸 六月廿三日 前五時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 七月二日 後一時出
●鎭南浦行 第一オハヨー號 後三時出
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 弘前丸 七月一日
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送迎可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ税關ノ